2025.07

お客様本位の業務運営を実現するための成果指標(KPI)と取組状況

今村証券株式会社

2025.07

お客様本位の業務運営を実現するための成果指標(KPI)と取組状況

お客様本位の業務運営を実現するための成果指標（KPI）と取組状況は次のとおりです。

① お客様の最善の利益の追求	P. 2 ～ P. 3
② 利益相反の適切な管理	P. 4 ～ P. 5
③ 手数料等の明確化	P. 6
④ 重要な情報の分かりやすい提供	P. 7
⑤ お客様にふさわしいサービスの提供	P.8 ～ P.14
⑥ 従業員に対する適切な動機付けの枠組み等	P.15 ～ P.16

© The Imamura Securities Co.,Ltd.

① お客様の最善の利益の追求

原則２
方針２

当社は社是として「**百術不及一誠**」を掲げております。

百術不及一誠とは、どんな小細工を弄しても真心にはかなわないという意味で、すべてのお客様に誠心誠意で接することが大切だということを教えている言葉です。

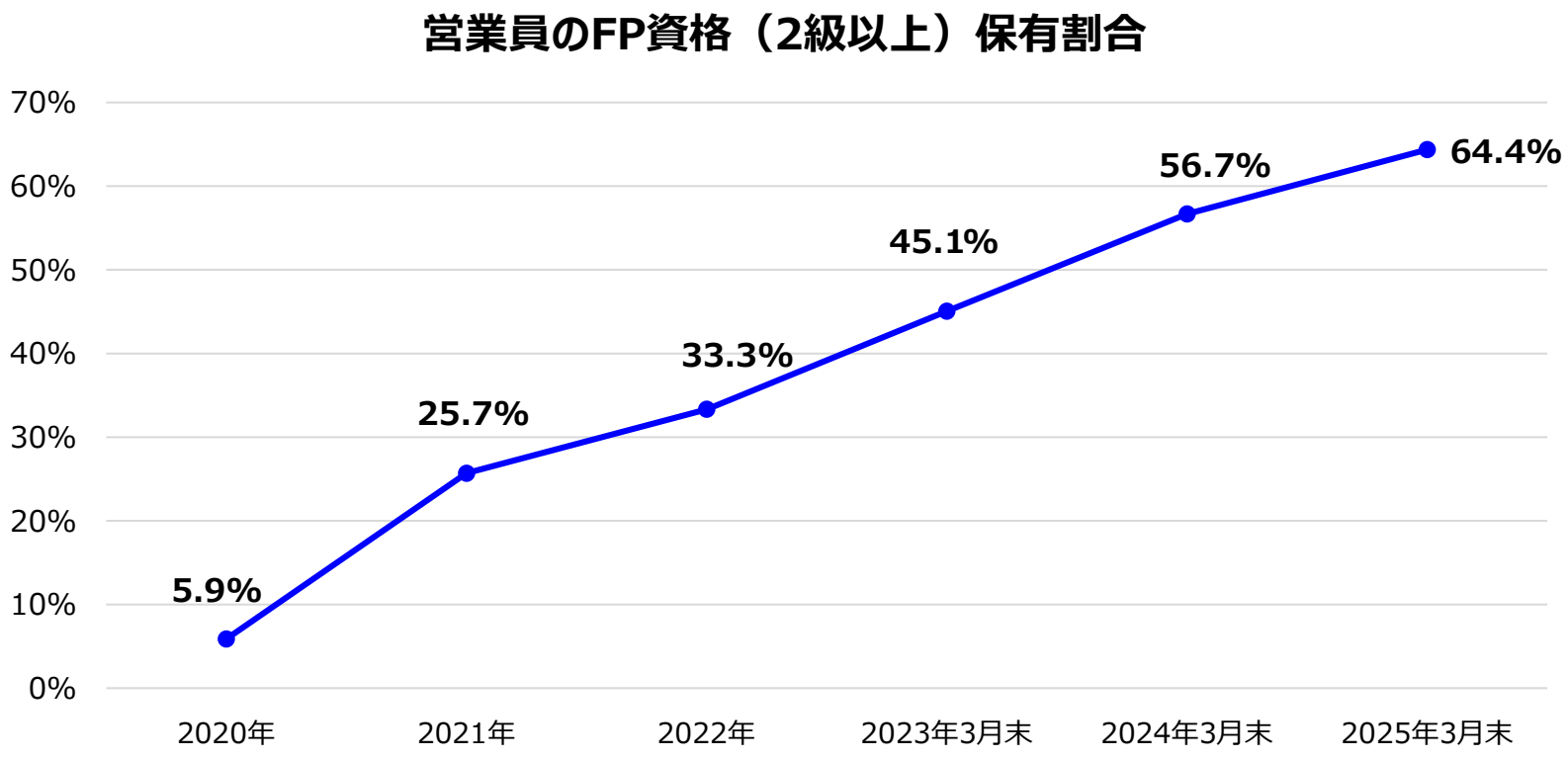
当社は、この方針に基づきお客様の最善の利益を追求することにより、お客様とともに発展し続ける企業を目指しております。

© The Imamura Securities Co.,Ltd.

① お客様の最善の利益の追求

原則２
方針２

- 高度な専門性を確保するためにFP資格（２級以上）の取得を奨励しております。



© The Imamura Securities Co.,Ltd.

② 利益相反の適切な管理

原則３
方針３

- 当社は、お客様との間の利益相反取引を適切に管理するため、「利益相反管理方針」を定め、その概要を公表しています。
  「利益相反管理方針の概要」はこちら

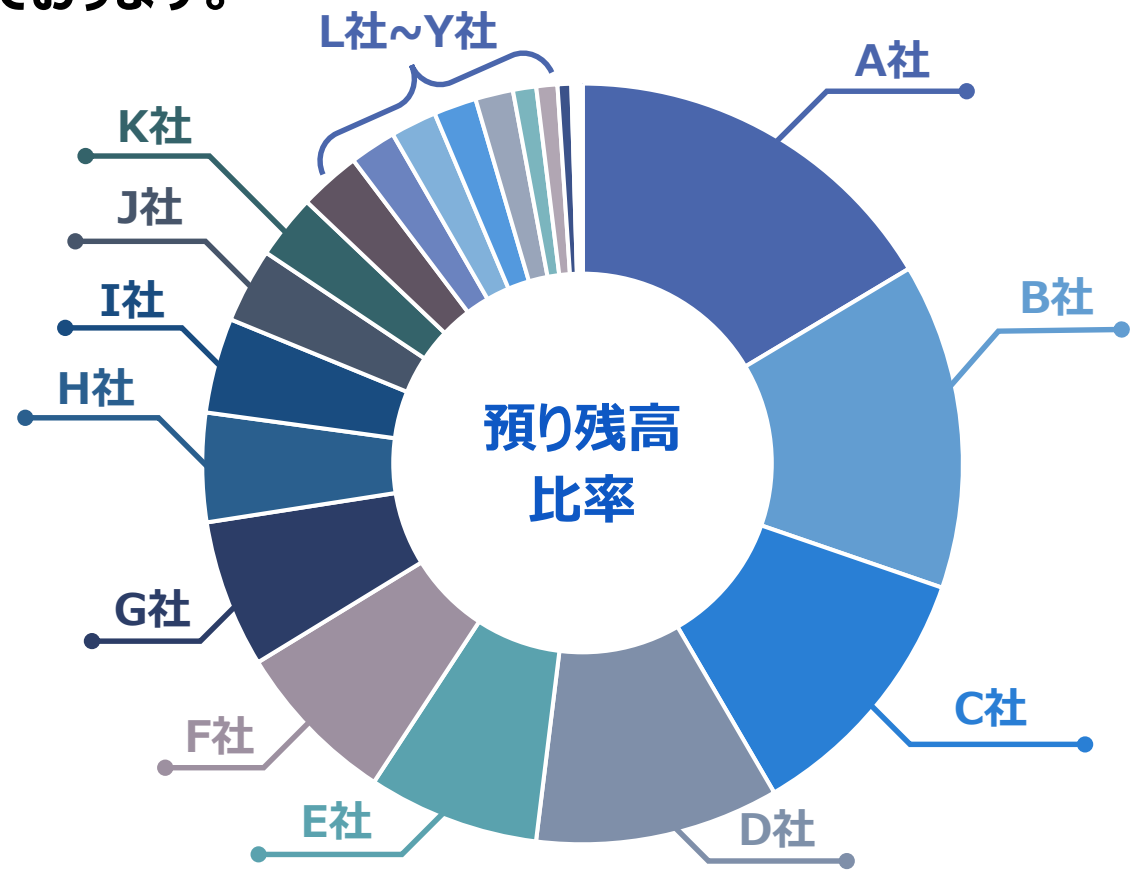
- 当社では、取引契約や取引内容が利益相反取引に該当していないか検証を行い、関係するステークホルダーが不利益にならないように、社内監査を行っております。

© The Imamura Securities Co.,Ltd.

② 利益相反の適切な管理

原則３
方針３

- 商品導入時には、商品仕入れ先が特定の会社に偏らないよう分散しております。



© The Imamura Securities Co.,Ltd.

③ 手数料等の明確化

原則４
方針４

- 手数料については、契約締結前交付書面及び当社ホームページにてご確認いただけるほか、目論見書、設計書、重要情報シート等にも掲載しております。
  「ご投資に係る手数料等およびリスクについて」はこちら

- 不当に高い手数料の商品をキャンペーンとして取扱っていないか、また、手数料の高い金融商品をお客様に推奨していないかを社内監査で検証しております。

© The Imamura Securities Co.,Ltd.

④ 重要な情報の分かりやすい提供

原則５
方針５

- 投資信託、債券、保険について重要情報シート（個別商品編）を作成し、お客様にお渡ししております。

今村証券

重要情報シート（投資信託）

作成日：2023年5月11日

投資信託版重要情報シート

01 商品等の内容（当社は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年)
組成会社（運用会社名）	日興アセットマネジメント
販売会社	今村証券
金融商品の目的・機能	世界各国の株式の中から主にロボティクス関連企業の株式に投資を行う。産業用やサービス用などのロボットを製作する企業のみならず、ロボット関連技術であるAI(人工知能)やセンサーなどの開発に携わる企業も投資対象とする。銘柄選定は、株式のアクティブ運用に注力するラザード社が、徹底した調査に基づき行う。外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行わない。ファミリーファンド方式で運用。7月決算。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	中長期での資産形成を目的とし、元本割れリスクを許容する方。
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

Q. 商品購入後はどのようにして資産状況を確認できますか？
A. 取引残高報告書にてご確認いただけます。また営業時間内にお問い合わせいただければ販売担当者よりご案内致します。
Q. この商品は元本を保証する商品ですか？
A. 投資信託全般の基準価額は変動があるため、投資元本を割り込むことがあります。

グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年)

カテゴリー	ファンドレーティング（総合）	リスクメジャー
国際株式・グローバル・含む日本(F)	★★★	4(やや高い)

設定日：2015年8月31日 / 償還日：2035年7月20日 / 決算日：原則7月20日

資産構成比 2022/07/20 現在

国内株式:	25%
国際株式:	71%
国内債券:	0%
国際債券:	0%
国内REIT:	0%
国際REIT:	0%
その他:	4%

地域別構成比 2022/07/20 現在

日本:	29%
北米:	44%
欧州:	23%
オセアニア:	0%
アジア:	4%
中南米:	0%
その他地域:	0%
国際機関:	0%

評価日：2023年4月30日

投資信託版重要情報シート

02-1 リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生ずるリスクの内容	投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資1単位当りの価値が変動します。したがって、お客さまのご投資された金額を下回ることもあります。
トータルリターン（1年）	11.45 % / 同一カテゴリー平均 2.25 %
トータルリターン（5年・年率）	12.46 % / 同一カテゴリー平均 9.15 %

※損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面、目論見書「投資リスク」に詳しく掲載されています。

Q. 損失が生じる場合のリスクについて詳しく教えてもらえますか？
A. お客様の金融商品取引に関する知識・経験等に応じて、丁寧かつわかりやすく説明します。販売担当者より説明を受けてください。
Q. 同一カテゴリーと比較して収益率が低い場合、他のファンドを検討したほうがいいのではないか？
A. 短期間のみならず長期間の収益率やリスク、シャープレシオをご確認の上総合的にご判断ください。詳しくは販売担当者より説明を受けてください。

リスクと運用実績

これまでの値動き 2023年5月10日 基準価額：26,360 円 純資産総額：327,078 百万円

リスクリターン分布図(5年)

※大分類カテゴリーで表示（ブル・ベア型除く）

	リターン（5年・年率）	リスク（標準偏差）（5年・年率）	シャープレシオ（5年・年率）
●当該ファンド	12.46%	21.49	0.58
❶国内株式型	4.86%	17.71	0.28
❷国際株式型	8.93%	20.83	0.37
❸国内債券型	-0.44%	2.00	-0.25
❹国際債券型	1.22%	10.66	0.15
❺国内REIT型	5.86%	15.94	0.36
❻国際REIT型	4.94%	20.70	0.25
❼ヘッジファンド型	0.80%	8.34	-0.05
❽コモディティ型	7.24%	20.32	0.48

※●当該資産

評価日：2023年4月30日

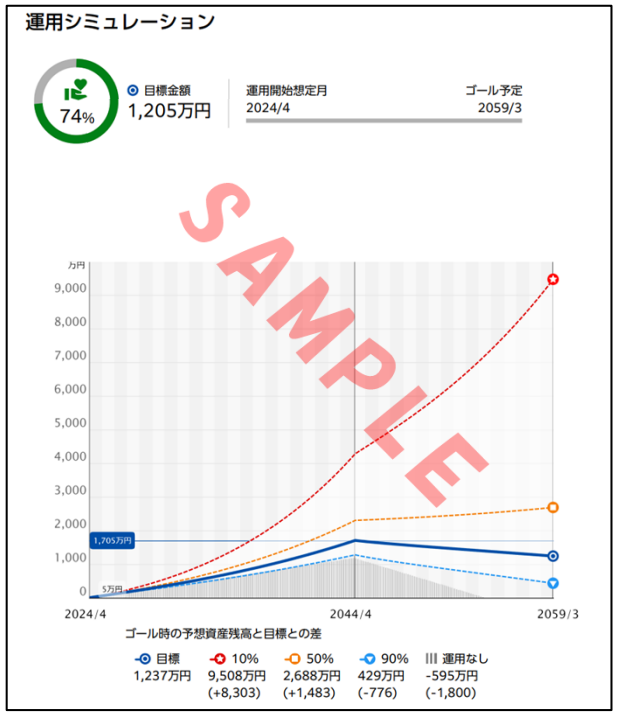
SAMPLE

⑤ お客様にふさわしいサービスの提供

原則６
方針６

- お客様それぞれの資産運用の目標（ゴール）を実現するために、ゴール・ベース・アプローチを用いた投資一任運用サービス「未来設計」を提供しております。

「未来設計」はこちら

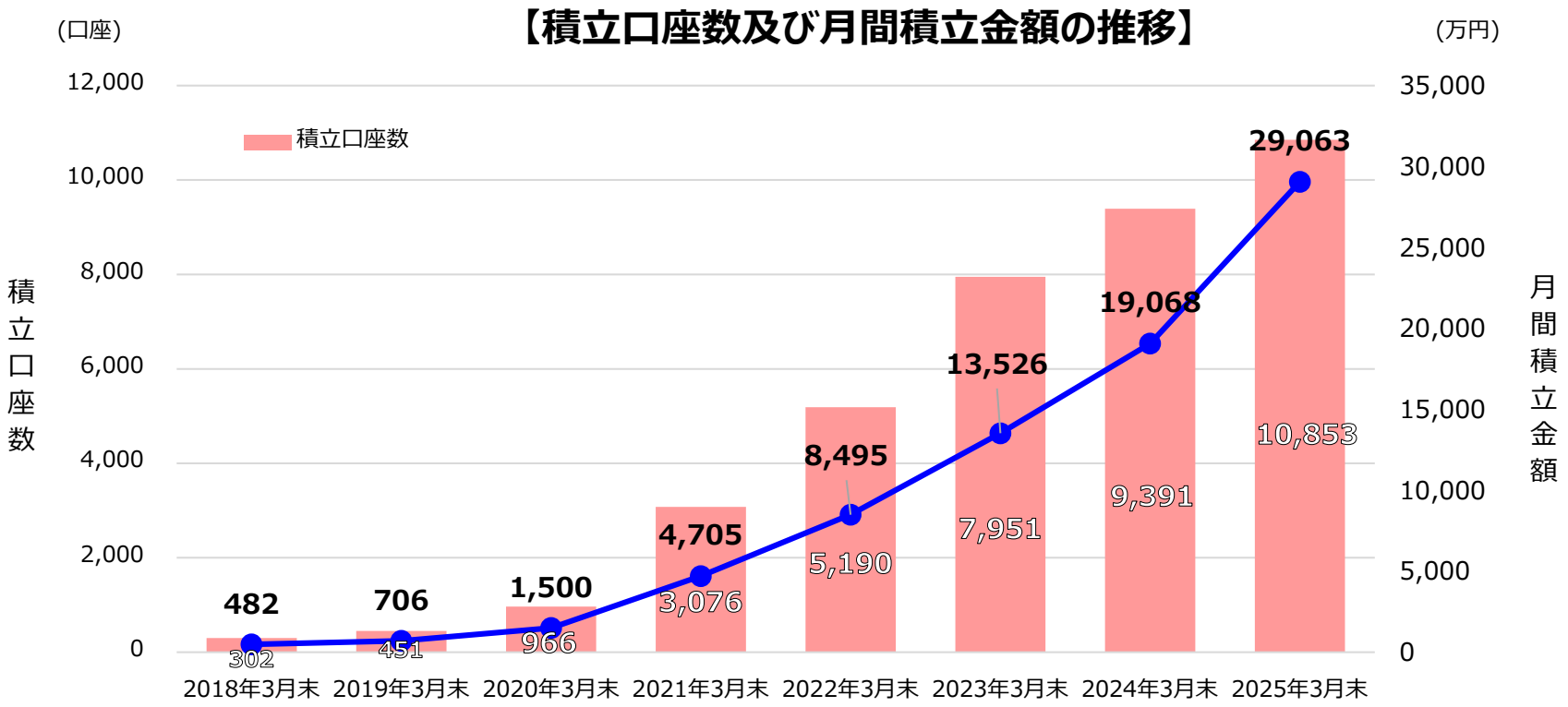


© The Imamura Securities Co.,Ltd.

⑤ お客様にふさわしいサービスの提供

原則６
方針６

- お客様の中長期的な資産形成を後押しするため、定時定額に投資信託を買い付ける「投信積立」や「新NISAつみたて投資枠」を推奨しております。



© The Imamura Securities Co.,Ltd.

⑤ お客様にふさわしいサービスの提供

原則６
方針６

- お客様に分かりやすく情報をご提供するために、定期的にお客様向けセミナーを開催しております。また、不定期で北陸３県に本社がある上場会社の会社説明会を開催しております。
  「セミナー情報」はこちら

- 検査部門において、営業店におけるお客様本位の業務運営等の定着状況を検証する検査を行っております。

© The Imamura Securities Co.,Ltd.

⑤ お客様にふさわしいサービスの提供

原則６
方針６

- 北陸3県で上場している企業について、当社の証券アナリストが作成した「アナリストレポート」を配信、ご提供しております。
  「アナリストレポート」はこちら

今村証券

2023年4月26日

担当　近藤 啓之

レーティング：　OUTPERFORM（2023/1/31）→ OUTPERFORM

※ プラスチック部品大手。自動車向け、海外が過半
※ 今期業績は会社予想上回り、売上高、利益のすべてで過去最高へ
※ 生産能力拡充、高付加価値製品の受注拡大、生産性向上に取り組む

	売上高（百万円）	伸び率（%）	営業利益（百万円）	伸び率（%）	経常利益（百万円）	伸び率（%）	純利益（百万円）	伸び率（%）	EPS（円）	1株配（円）
連 19/5	55,146	-5.0	2,233	-20.8	2,065	-21.2	1,352	-27.1	45.79	14.00
連 20/5	50,716	-8.0	694	-69.2	199	-90.3	-406	-	-13.32	9.00
連 21/5	55,145	8.7	2,411	247.2	1,951	878.6	1,302	-	42.72	11.00
連 22/5	65,661	19.1	2,543	5.5	2,416	23.8	1,811	39.1	59.43	14.00
連 23/5(会社予)	68,000	3.6	2,800	10.1	2,500	3.5	1,900	4.9	62.32	14.00
連 23/5(今村予)	76,000	15.7	3,200	25.8	3,000	24.2	2,250	24.2	73.50	16.00
第3四半期累計期間										
連 21/6-22/2	45,489	13.3	1,177	-56.3	974	-38.2	714	-20.5	23.44	-
連 22/6-23/2	57,265	25.9	2,173	84.6	2,228	128.6	1,515	112.1	49.73	-

株価(2023/4/25)　5,01 円
発行済み株式数(23/2末)　30,698 千株
自己株式数(23/2末)　204 千株
時価総額　15,682 百万円
企業価値(EV)　24,082 百万円
ROE(22/5実績)　8.4 %
予想配当利回り(23/5今村予)　3.1 %
予想PER(23/5今村予)　7.0 倍
BPS(23/2実績)　800.96 円
PBR　0.6 倍
CFPS(22/5実績)　98.8 円
PCFR　5.2 倍
EV/EBITDA(22/5実績)　4.2 倍

株価チャート（週足）

出所：三光合成、ブルームバーグ、今村証券

※ 会社概況…プラスチック部品大手。自動車向け、海外が過半

連結売上高（2022年5月期）の約8割を占める成形品事業の内、約72%が車両分野（自動車向け内装・外装部品、機能部品等）である。成形品の品質を守るため、自社で金型の設計・作製を手掛け、金型は外販もしている。海外売上高比率が約65%と高く、アジア（タイ・インドネシア・中国・インド等）、欧州（英国・ハンガリー等）、北米（米国・メキシコ）に拠点を持つ。

※ 今期業績…会社予想上回り、売上高、利益のすべてで過去最高へ

今期（2023年5月期）第3四半期累計期間業績は増収率26%、営業増益率85%、純利益2.1倍と大きく伸び、売上高、営業利益、経常利益は第3四半期業績の公表を始めた2005年3月期以降で最高だ（資料1、出所：決算短信）。主要取引先である自動車メーカーの減産幅縮小、円安が海外子会社業績の円換算額を膨らませたこと、値上げ、原価低減活動の推進などがプラスに働いた。原材料価格の高騰については、タイムラグがあるものの製品価格に反映でき、電気料金や物流費の上昇分は交渉の上、価格転嫁を進めている。経常利益、純利益は営業外収益に計上した為替差益2億16百万円（前年同期は為替差損14百万円）が押し上げた。通期会社予想に対する進捗率は売上高81.2%、営業利益77.6%、純利益79.7%となっている。

四半期会計期間でみると、第3四半期（12-2月）は第2四半期（9-11月）より低調だった。これは従来の傾向通りであり、クリスマスや正月、旧正月などにより世界中で工場稼働日数が少ないことに起因する。第4四半期（3-5月）は、中国において日系自動車メーカーの販売台数が

1

今村証券

2023年4月26日

弱含んでいる点が懸念される一方で、日本や欧州では新製品の量産が始まっている。これを踏まえ、今村証券による通期業績予想は、売上高760億円（前期比+15.7%）、営業利益32億円（同+25.8%）、純利益22億50百万円（同+24.2%）とし、会社予想に比べて売上高が約12%、営業利益が約14%、純利益が約18%上回り、売上高、利益のすべてが過去最高になるとみた。

（資料1）売上高・営業利益の推移

※ 中長期の取り組み…生産能力拡充、高付加価値製品の受注拡大、生産性向上

会社が掲げる中長期業績目標では、2029年6月期売上高800億円、営業利益80億円、売上高営業利益率10%」（資料2、出所：決算説明会資料）。大きな円安に振れたため、売上高は前倒しでの達成が視野に入る。自動車生産の正常化、受注の受注も押し上げ要因になるとみられ、インドやメキシコでは数年後をメドにした生産能力の拡張計画もある。

課題は利益率の向上だ。今期今村証券予想の売上高営業利益率は4.2%であり、会社目標のハードルは高い。来期（2024年5月期）は受注増加に伴う生産効率改善、値上げ効果の寄与が大きそうだ。さらに、現在2~3割とされる付加価値が高い製品の売上構成を2028年5月期までに5割へ引き上げ、残り5割の既存部品では生産性を向上させることで利益率を押し上げる方針を示している。

高付加価値製品は金型や製品の設計を担当する人員を国内外で増強し、自動車部品の開発や設計段階から携わることで受注拡大に取り組んでいる。需要拡大が見込まれる電気自動車向けでは、すでにバッテリーケースカバーといったバッテリー周辺部品などの量産実績があり、車両の軽量化ニーズに応える部品の樹脂化も提案していく。

既存部品での生産性向上は省力化・無人化機器を自社開発している強みを活かし、用途・生産数に合わせたカスタマイズを実行する。

（資料2）中長期業績目標

	22.5期 実績	23.5期 会社計画	24.5期 今村予想	24.5期 今村予想	～	26.5期 会社目標	～	29.5期 会社目標
売上高　（百万円）	65,661	68,000	76,000	79,000		－		80,000
営業利益　（百万円）	2,543	2,800	3,200	3,900		－		8,000
売上高営業利益率（%）	3.9	4.1	4.2	4.9		8.0		10.0

※ 投資判断…OUTPERFORM継続

株価は昨年末の410円から4月3日の617円まで大幅高となり、2018年5月以来の高値を付けた。4月25日終値（511円）も昨年末より約25%高い水準だ。

今村証券による業績予想は、今期が売上高760億円、営業利益32億円、EPS73.5円、来期が売上高790億円（今期今村証券予想比+3.9%）、営業利益39億円（同+21.9%）、EPS88円とする。今期、来期と続けて営業増益率が2割を超えるとの予想。来期今村証券予想EPSを基にした予想PERが6倍と割安感があることから、投資判断はOUTPERFORMを継続する。

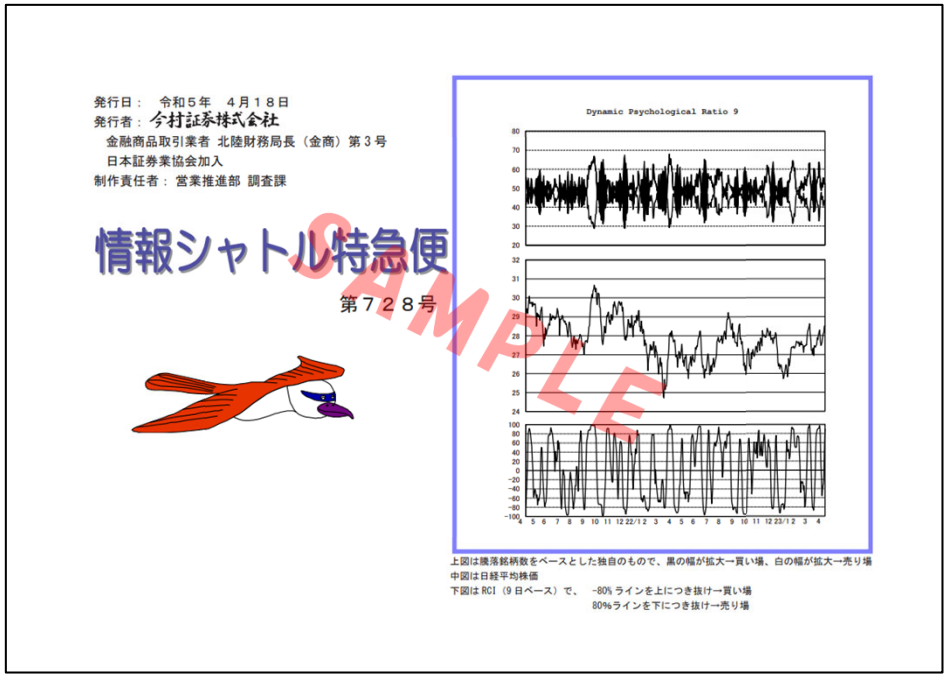
2

© The Imamura Securities Co.,Ltd.

⑤ お客様にふさわしいサービスの提供

原則６
方針６

- お客様向けの情報誌「情報シャトル特急便」を月２回程度配信、ご提供しております。
  「情報シャトル特急便」はこちら



⑤ お客様にふさわしいサービスの提供

原則６
方針６

- 当社の証券アナリストが作成したマーケット動向、北陸経済動向、北陸企業ニュース等をまとめた「Imamura Report」を月１回配信、ご提供しております。
  「Imamura Report」はこちら

⑤ お客様にふさわしいサービスの提供

原則６
方針６

- 北陸の企業を中心とした市況情報「地場の目」を毎営業日配信しております。
  「地場の目」はこちら

- その他、個別株式のレポートをお客様にご提供しております。

- 今後、金融商品の組成に携わる事業者と連携して、金融商品を購入されたお客様のお声や販売状況に関する情報を提供し、商品の選定等に活用する予定です。

© The Imamura Securities Co.,Ltd.

⑥ 従業員に対する適切な動機付けの枠組み等

原則７
方針７

- 営業員の商品知識、投資環境知識向上のために定期的に勉強会を開催しております。

【勉強会の実施状況】

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
外部講師による勉強会開催数	13 回	23 回	28 回	27 回	21 回
社内勉強会開催数	6 回	4 回	4 回	9 回	7 回
合計	19 回	27 回	32 回	36 回	28 回

© The Imamura Securities Co.,Ltd.

⑥ 従業員に対する適切な動機付けの枠組み等

原則７
方針７

- 当社では、従業員のスキルアップ意欲を高めるために技能手当を導入しております。業務に活かせる資格を取得した従業員には、特定の技能を有する者として技能手当を支給しております。
- 当社では、お客様の中長期的な資産形成を後押しするため、投資信託の残高に応じた営業員への評価体制を構築しております。

© The Imamura Securities Co.,Ltd.